科目コード	61000a	ナンバリング	CAA110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	社会福祉 1-地						
科目英語名	Social Welfare 1-地						
担当教員	松本　充史						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	１．社会福祉を学び始める学生が、社会福祉における分野・職種・現場、ＳＷの視点、専門職・資格、援助実践の実際や本質など、広範囲にわたる基礎的内容を学ぶ。 ２．現場実習における実践の学びの基礎となるように、社会福祉の各領域における現場、専門職、専門性について具体的に学ぶ。 ３．上記の基礎的理解から展開して、社会福祉のとらえ方、法制度サービス、歴史的な観点と変遷、ＳＷのモデルやアプローチを学び、社会福祉についての理解を深める。						
学修成果到達目標	１．保育士に必要となる社会福祉の機能や専門性、社会的な内容など基礎的な知識を身に着ける。 ２．将来、対人援助職を目指す学生として、社会的な内容とともに、人間観、援助間などを講義を通じて学び、理解できる。 ３．保育士を養成する学科における基礎科目としては、特に児童福祉についての基礎的な理解から保育実習、教育実習に対応できる。						

	授業計画	事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間
1	社会福祉の法・制度に基づいたソーシャルワーク	教科書当該箇所を読んでおく(120 分)	参考資料等を読み、社会福祉の法・制度及びソーシャルワークの特性について考えを深める(120 分)
2	社会福祉の動向と子ども家庭福祉の課題	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、社会福祉の動向と子ども家庭福祉の課題について考えを深める(2 時間)
3	社会福祉専門職の倫理	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、社会福祉専門職の倫理について考えを深める(2 時間)
4	ソーシャルワークにおける対象理解とケースマネジメント	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、ソーシャルワークの対象とケースマネジメントについて考えを深める(2 時間)
5	ソーシャルワークの展開過程と評価	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、ソーシャルワークの展開過程と評価について考えを深める(2 時間)
6	ソーシャルワークの方法	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、ソーシャルワークの方法について考えを深める(2 時間)
7	援助関係とコミュニケーション技術	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、援助関係とコミュニケーション技術について考えを深める(2 時間)
8	社会福祉六法と社会福祉制度	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、社会福祉の関連法について考えを深める(2 時間)
9	社会福祉の実施機関と福祉施設（ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介）	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、社会福祉の実施機関と福祉施設について考えを深める(2 時間)
10	利用者保護に関わる社会福祉制度	教科書当該箇所を読んでおく（2 時間）	参考資料等を読み、利用者保護に関わる社会福祉制度に

			ついて考えを深める(2 時間)
11	共生社会の実現と障害者福祉施策 （ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介）	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、障害者福祉施策について考えを深める(2 時間)
12	日本の社会福祉の歴史的変遷	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、日本の社会福祉の歴史的変遷について考えを深める(2 時間)
13	欧米の社会福祉の歩みと諸外国の動向	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、欧米の社会福祉の歩みと諸外国の動向について考えを深める(2 時間)
14	在宅福祉・地域福祉の推進	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、在宅福祉・地域福祉について考えを深める(2 時間)
15	社会保障	教科書当該箇所を読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、社会保障について考えを深める(2 時間)

試　験	レポート試験				
教科書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考
	社会福祉入門	芝野松次郎・新川泰弘・山縣文治[編著]	ミネルヴァ書房	9784623091058	
参考書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考
	幼保連携型認定こども園　教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	

成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など
	授業態度	10%	受講姿勢、積極性を評価する
	授業毎の課題	50%	授業内容を理解しているか評価する
	レポート試験	40%	正確な説明ができているか評価する

備　考	日ごろから新聞等で社会福祉の記事に目を向けるなど関心をもつこと
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）	
授業内容	社会福祉士として児童福祉施設で実務経験のある教員が授業を担当し、保育士として求められる社会福祉のとらえ方や考え方ににについての講義を行う。